

2016年度 第1四半期決算説明会
主な質疑応答

Q1: 1Qの営業利益はセグメント別では計画に対してどうだったのか？

A1: イメージング及びインフォメーションは円高による為替のマイナス影響をカバーして、計画を達成した。ドキュメントはアジア通貨安による為替のマイナス影響に加えて、米国ゼロックス社向け輸出が想定より弱かったことから、計画を下回った。

Q2: イメージングソリューションの対前年増益要因は？

A2: 好調の続くチェキに加えて、ハイエンドモデルへのシフトにより収益性向上が進むデジタルカメラ、及び需要が拡大している付加価値プリントが主に貢献した。

Q3: チェキの1Q販売実績は？

A3: チェキの1Q販売は対前年同期+31%の135万台となり、今期通年見込みの650万台に対して順調な立ち上がりとなった。

以上